



RCR STD-41

NTT方式無線呼出システム
RADIO PAGING SYSTEM
BASED ON NTT METHOD

標準規格
ARIB STANDARD

RCR STD-41

平成6年11月10日 第1版 策定

社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

ま え が き

財団法人電波システム開発センターは、無線機器製造者、電気通信事業者及び利用者の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な技術条件を「標準規格」として策定している。

標準規格は、周波数の有効利用及び他の利用者との混信の回避を図る目的から定められる国の技術基準と、併せて無線設備の適正品質、互換性の確保等、無線機器製造者、電気通信事業者及び利用者の利便を図る目的から策定される民間の任意基準をとりまとめて策定される民間の規格である。

本標準規格は「N T T方式無線呼出システム」について策定されたもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、電気通信事業者、利用者等の利害関係者の参加を得た当センターの規格委員会の総意により策定されたものである。

本標準規格で規定されている範囲は、通信を行うために必要な最小限の規格を定めたものであるが、本標準規格の利用にあたっては、N T T方式無線呼出システムを構築する電気通信事業者等が、本標準規格を逸脱することなく独自に定めることが可能な規定及び規格値等を併せて利用することが必要である。

本標準規格が、無線機器製造者、電気通信事業者、利用者等に積極的に活用されることを希望する。

注 意

本標準規格は、本標準規格に係る必須の工業所有権に関して特別の記述は行われていないが、当該必須の工業所有権の権利所有者は、「本標準規格に係る工業所有権である別表に掲げる権利は、別表に掲げる者の保有するところのものであるが、本標準規格を使用する者に対し、一切の権利を主張せず、無条件で当該別表に掲げる権利の実施を許諾する。ただし、本標準規格を使用する者が本標準規格で規定する内容の全部又は一部が対象となる必須の工業所有権を所有し、かつ、その権利を主張した場合、その者についてはこの限りではない。」旨表明している。

別 表

特許出願人	発明の名称	出願番号等	備 考
日本電信電話株式会社	選択無線呼出方式	特開平2-44821	

目 次

まえがき

第1章 一般事項	1
1.1 適用範囲	1
1.2 システムの概要	1
1.2.1 基地局側設備	1
1.2.2 受信機	1
第2章 設備の技術的条件	3
2.1 基地局送信条件	3
2.1.1 周波数	3
2.1.2 隣接チャネル漏洩電力	3
2.1.3 占有帯域幅	3
2.1.4 周波数安定度	3
2.1.5 変調方式	3
2.1.6 最大周波数偏位	3
2.1.7 複局同時送信方式	3
2.1.8 マルチエリアサービス機能	4
2.2 受信機の条件	4
2.2.1 受信周波数	4
2.2.2 局部発振回路部	4
2.2.3 基準感度	4
2.2.4 隣接チャネル選択度	4
2.2.5 相互変調	5
2.2.6 スプリアスレスポンス	5
2.2.7 副次的に発する電波等の限度	5
第3章 信号方式	7
3.1 フレーム構成	7
3.2 グループ構成	7

3.2.1	同期信号	7
3.2.2	A/M識別符号	8
3.2.3	選択呼出符号	8
3.3	誤り訂正符号	11
3.4	送出回数	11
3.5	呼の送出位置	11
3.6	呼出残回数	11
3.7	メッセージの送出方法	11
3.8	残ワード処理	12
3.9	同期引込みフロー	13
第4章	測定法	15
4.1	基準感度	15
4.2	隣接チャネル選択度	16
4.3	相互変調	18
4.4	スプリアスレスポンス	19
4.5	副次的に発する電波等の限度	21
第5章	用語集	23
付録		25